

ライオン株式会社 リビングケア研究所

健康で快適な住空間を目指して

ライオン株式会社は「健康」「快適」「環境」をキーワードに、歯ブラシや洗剤に代表されるような日々の暮らしに役立つ製品や、サービスの提供につとめています。国内の研究所は東京の平井と神奈川の小田原の2拠点にあり、私が所属している平井のリビングケア研究所では主に台所用洗剤やお風呂・トイレ洗剤等の住居用洗剤を開発しています。

製品の中身をつくる仕事では、性能が高く、使用感が良く、安全性も担保された組成を構築する事が大切な命題です。そのために何千というサンプルを配合し、ベストなものを選び出します。また実際には組成をつくるだけではなく、企画を作る段階から、研究員が企画部門と一緒に考えている場面も多いです。生活者視点の製品開発を行うため、生活者を招いてインタビューをしたり、行動を観察させていただく機会もしばしばあります。そのため、研究所には洗面台、キッチン、浴室など暮らしのシーンをフレキシブルに再現できる施設が完備されています。インタビューや意識調査から、不満点や隠れたニ

ズを探し出し、実現するための組成や剤型の要素を明確にすることも研究員の大切な仕事です。

私たちの研究所の主力製品は洗剤ですが、健康で快適な住空間を実現するためには目に見える汚れだけではなく、ニオイや菌やウイルスなど目に見えない不快物質に対する対処も必要です。そのためには従来の汚れを落とすという行動だけではなく、新しい行動を生み出すような解決策を模索していきたいと考えています。例えば、2012年に発売した「ルックお風呂の防カビくん煙剤」は銀イオンを煙で飛散させ、浴室の天井から床の隅々まで行き渡らせてカビを防ぐという製品ですが、従来のカビを落とすという発想ではなく予防するという新しい行動をつくりました。またトイレ洗剤の「まめピカ」ではトイレトーパーが破れにくい組成を開発し、こまめにサッとひと拭きするという習慣を提案しました。このような新たな掃除行動を作りだすような価値を今後も追及し、健康で快適な住空間を実現する手助けになるものを作っていきます。

(リビングケア研究所 柳曾聡美)



平井研究所



開発風景

